

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 6 月 2 日

### 【評価実施概要】

事業所番号	3870200650		
法人名	社会福祉法人 杉の子会		
事業所名	グループホーム 廣寿苑		
所在地	今治市南大門3丁目5-33 (電話) 0898-24-7000		
管理者	妹尾 美地子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 4 月 16 日	評価確定日	平成 20 年 6 月 4 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 3 月 28 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 4 月 17 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15 人, 非常勤 人, 常勤換算 15 人	

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	13,000 円
敷金	有( )円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	200 円	昼食 600 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり	1,300 円	

### (3) 利用者の概要 (平成 20 年 3 月 28 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護 1	4 名	要介護 2	4 名
要介護 3	8 名	要介護 4	1 名
要介護 5	1 名	要支援 2	名
年齢	平均 83.9 歳	最低 64 歳	最高 96 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	なし	医療連携体制加算

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

総合福祉施設の1つとして開設されたホームである。ホーム周辺には小学校、図書館、公園、商店等があり、JRの駅も近く、生活に便利な立地となっている。職員は各利用者の思いや希望を日々の会話や利用者同士の関わり等から把握し、一人ひとりの笑顔を大切にしながら、気兼ねなくゆったり暮らせるよう支援している。利用者と職員は、共に料理の下ごしらえや買い物を楽しみ、冗談も言い合える間柄で、温かい関係づくりが進んでいる。また、ホームと地域は、互いの行事に参加し合うなどの交流があり、ボランティアや実習の受け入れも活発である。

### 【質向上への取組状況】

#### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

前回の評価後、各ユニットの入り口に玄関の表示を出してわかりやすくし、また居室のドアに目印を掲げることで部屋の間違いを防ぐ等、改善に取り組んでいる。

#### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

運営者、管理者、職員は評価の意義を理解し、全職員で自己評価に取り組んでいる。職員は、自己評価を行うことで日頃のケアの振り返りになっていると考えている。

#### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

会議ではホームの利用者の状況、行事、ボランティアの受け入れ、職員の研修等について報告し、参加者から質問、意見を出してもらっている。会議で出される助言や地域行事の情報提供等をサービスの向上に活かしている。参加者や議題が固定化しがちなので、利用者、家族、地域住民等、開催ごとに参加するメンバーにも工夫しながら、幅広い内容での会の運営を期待する。

#### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族の意見や希望は、家族の来訪時、家族会、運営推進会議等で把握し、サービス向上に活かしている。苦情相談窓口は内部と外部に分けて文書に明記し、家族にも説明している。

#### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

ホームは地域の祭りや盆踊り、小学校の運動会や地域交流会に参加し、地域の方々にホームの夏祭りに参加してもらおう等、相互の交流が進んでいる。また、小学生の手作りや踊り、地域の音楽療法等のボランティア、中学生の実習等も積極的に受け入れている。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目  
(評価項目の構成)

## I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

## II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

## III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

## IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

## V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー  
“愛媛県地域密着型サービス評価”

## 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

## ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 社会福祉法人杉の子会グループホーム廣寿苑  
(ユニット名) さくら

記入者(管理者) 氏名 妹尾 美地子

評価完了日 平成 19 年 3 月 25 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 「私達は笑顔で気兼ねなくゆったりとした生活が送れるよう支援してまいります。」という理念のもと協力しい見学者・入居時には分かりやすく説明し理解や了解も得ている。  (外部評価) 全職員で話し合っつくりあげた分かりやすい理念であり、居間の見やすい所に掲げられている。なお、地域との交流の視点から、いま一度、理念を見直しているところである。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 管理者を中心に、理念の実践に向けて日々努力している。  (外部評価) 職員は申し送りの時などに理念を読み上げ、確認し合っている。また、日々のケアでは、利用者笑顔で話し、ゆっくり接する等、常に理念を意識しながら支援している。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 買い物や散歩に行き、出掛けた時に会話をして地域交流を実施し、訪問時・見学時・家族会・推進会議等で理念の理解を得ている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 町中に立地している為、商店との交流は比較的スムーズに行われているが、隣近所においては少し難しいものがある。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 小学校からの案内があり学校行事においては良く参加させて頂いている。又、地域の行事等も推進会議の参加より情報を得ている。  (外部評価) ホームは地域の祭りや盆踊り、小学校の運動会、地域交流会に参加し、地域の方々にホームの夏祭りに参加してもらおう等、相互の交流が進んでいる。また、小学生の手品や踊り、地域の音楽療法等のボランティア、中学生の実習等も積極的に受け入れている。		地域ボランティアの参加
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 人材育成の貢献として、実習の受け入れ（インターシップ）なども積極的に行っている。		事業所での実践内容を踏まえ老人会、町内会など、地域の様々な研修、会合に関わりながら認知症ケアの啓発に努めたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自分及び施設を見つめ直す良い機会だと思う。また、外部評価を活かして意識の向上に努めたい。  (外部評価) 運営者、管理者、職員は評価の意義を理解し、全職員で取り組んでいる。職員は自己評価を行うことで日頃のケアの振り返りができると考えている。前回の評価後、各ユニットの入り口に玄関の表示を出してわかりやすくし、居室のドアに目印を掲げることで部屋の間違いを防ぐ等の改善に取り組んでいる。		評価で見出された課題について改善計画を作成する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 苑便りを作成し、日々の活動内容を報告し、管理者を中心に話し合いをし業務向上に活かしている。  (外部評価) 会議では利用者の状況、行事、ボランティアの受入れ等を報告し、参加者から質問、意見を出してもらっている。会議で出される助言や地域行事の情報提供等をサービスの向上に活かしている。参加メンバーや議題がやや固定化している傾向にある。	※	ホームの状況報告等だけでなく、認知症や防災対策の理解に関する学習会、外部評価報告、ホームの見学や行事への参加等で会議の開催にかえるなど幅広くとらえ、柔軟な会の運営を期待する。また、参加メンバーも開催ごとに議題や内容に応じて検討する等の工夫が望まれる。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 高齢介護課との連携は取っているが、訪問頻度は少ない。  (外部評価) 市担当者とは、日々のケアや業務について相談したり、助言を得るなど日常的に行き来する機会がある。地域包括支援センターとの連携も進んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 勉強会を行い、職員同士話し合いをして必要な人には活用できるよう支援している。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修・勉強会・ミーティングなどを実施して高齢者虐待法の理解を図り、虐待防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、重要事項説明書を丁寧に行い、事業所のケアに関する考え方や取組み、重度化や医療連携体制について詳しく説明し、同意を得るようにしている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 3ヶ月に一度の家族会・食事会を実施し、利用者の意見の交換を行っている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 2ヶ月に1回苑便りを作成し、日々の生活状況を報告している。又、金銭管理に関しては、小遣い帳を作成し、その都度記入し金銭も金庫にて管理している。  (外部評価) 利用者の暮らしぶりは、家族の来訪時や電話等で随時報告し、また「ホーム便り」で日々の様子を写真も掲載しながら伝えている。金銭管理は一人ひとりの出納帳を作り、家族にサインをもらっている。管理できる利用者は少額の金銭を所持し、買い物の楽しみを味わっている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 何でも気楽に言ってもらえるような雰囲気作りをし、出された意見や要望は、申し送りやミーティングで話し合い反映している。又、玄関に意見箱・苦情箱の設置をし、他の苦情相談場所への明記をしている。  (外部評価) 家族の意見や希望は家族の来訪時、家族会、運営推進会議等で把握し、サービスの向上に活かしている。苦情相談窓口は内部と外部に分けて文書に明記し、家族にも説明している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティングなどを行い意見を出し合い業務に活かしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 管理者に相談しながら勤務調整を行い、柔軟な対応ができるように努めている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 基本的には、各ユニットの職員を固定化し、顔馴染みの職員によるケアを心掛けている。  (外部評価) 職員の異動は最小限になるよう努めている。異動時は交替職員同士の重複勤務としたり、異動してくる職員が事前に利用者に関わることで利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 他の事業所の学習会や研修には、多くの職員が参加できるように配慮をしている。  (外部評価) 地域ネットワークやグループホーム連絡協議会主催等の研修があり、職員は各自の希望で参加している。ホーム内では月に1回以上の学習会を企画、実施している。		年間計画の中で研修の位置付け

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 月1回の地域ネットワークに出来る限りの参加を心掛けている。		
			(外部評価) 同系列の事業所との交流はあるが、ホーム同士の勉強会、相互訪問等は行っていない。今後、交流の機会づくりや相互訪問等を行いたいと考えている。	※	サービスの質向上の面からも、他ホームとの交流や相互訪問等の実現を期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 一息入れる休憩の時間・場所の確保は出来ている。		勤務の継続に繋がるよう、職員の疲労感を知る。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員の資格取得に向け、支援をしている。また、運営者も比較的現場に来ている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 1対1での関わり時間を多く持っている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 御家族が求めているものを理解し、事業所としては、どのような対応ができるか事前に話し合いをしている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、本人や御家族の思い・状況などを確認し、改善に向けた支援の提案など可能な限り柔軟な対応を行っている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 何事も自然体（生活の流れ）の中で活かされるよう努める。  (外部評価) 入居前からホームを見学して共に過ごしてもらったり、同系列の事業所を経て入居してもらったり、入居後しばらくは職員とマンツーマンで過ごしたり、気の合いそうな利用者と話す機会を設ける等、ホームに徐々に馴染めるよう徐々に工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一日の流れにおいて、普通の家族のような過ごし方を心掛けている。  (外部評価) 利用者と職員は一緒に洗濯物を干したり、料理をしたり、買い物に出かけたり、お茶を飲みながら話をする等で、共に楽しんでいる。職員は、利用者から料理、針仕事、風習等について学ぶことが多いと感じている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族との情報交換を行い、共有に努め、一緒に支える為に家族と同じような思いで支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 管理者を中心に、本人と家族の関係を話し合い、理解し、利用者の負担にならないよう良い関係が築けるよう支援している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) なるべく馴染みの場に行けるよう支援の工夫をし、入居者さんの楽しみ（心の安定）に繋げている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 役割、活動を通して利用者同士の関係が円滑になるような働きかけをしている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 終了後も利用中に培った関係を基盤にしなが入院見舞いや電話連絡などを行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) できるだけしたい事、行きたい所へ行けるよう本人の好きな事、好きな所を把握し、実現できるよう努力している。  (外部評価) 職員との会話、利用者同士の話、介護計画の見直しでの利用者の発言等から一人ひとりの思いや希望の把握に努め、支援に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 生活歴、馴染みの暮らし等をしっかり把握し、なるべく馴染みの暮らしが出来るように努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) その日の心身、精神状態の確認をし、申し送りや会話の中から把握に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人らしく暮らせるよう、気付き、意見、要望を反映した介護計画の作成に努めている。  (外部評価) 利用者ごとに職員の担当者を決め、担当者が中心になって、利用者や家族の思いを反映しながら、センター方式で介護計画を作成している。計画作成後は家族にも説明し、確認し合っている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) ケアマネを中心3ヶ月に1回プランの見直しをし、より良い暮らしが出来るように話し合いを行っている。  (外部評価) 介護計画はモニタリングシートでチェックし、月1回の評価を行い、必要時に見直すことにしている。また、利用者の状況が変化した場合、計画を立て直している。変化がなくても、3か月に1回は利用者や家族も話し合いに加わり、計画を見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別記録を基に介護計画を見直し、評価を行い実施している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人・家族の状況に応じて通院や送迎など必要な支援は、柔軟に対応し、個々の満足を高めるよう努めている。  (外部評価) 利用者や家族の状況に合わせ、急な受診の支援、冠婚葬祭への対応、家族のホーム内での宿泊等の柔軟な支援を行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 幼稚園・小学校への働きかけやボランティアの協力を得ている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の希望や体調に応じて訪問理容サービスを利用してもらっている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 推進会議に地域包括支援センターの職員の参加があり、周辺情報や支援に関する情報交換の協力関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人・御家族の希望するかかりつけ医となっている。又、受診通院は基本的には家族同行となっているが、職員代行もあり利用契約時に説明し、同意を得ている。  (外部評価) 利用者や家族の希望にそったかかりつけ医の受診支援を行っている。受診時は家族が同行することになっているが、状況により職員が付添うこともある。ホームの看護職員による健康管理も行われている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 利用時点で認知症と診断されていても必要な薬の見極め、治療方針がしっかりとされていない場合もある。		認知症の医療に熱心で家族や職員の話聞いてくれ、適切な指示や助言をしてくれる医師の確保を希望する。
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ナース在職し、相談しながら日々健康管理に気をつけている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 管理者（ケアマネ）を通して実施している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人や家族の動向、本人にとってどうあったらいいか、事業所が対応できる最大の支援方法を話し合っている。  (外部評価) 重度化や終末期のあり方については、利用者、家族、かかりつけ医等と日頃から話し合っている。看取りのマニュアルを作成し、ホームで支援できる範囲で対応することになっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) まだ、該当者がいないが、本人や家族の意向を踏まえ、急変した場合はすぐ対応して頂けるよう医療機関とも連携を図り対応している。(一部)		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 暮らしやケアの継続が保たれるよう移行先へサマリー、個人情報の伝達などプライバシーに配慮しながら行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 常に尊厳ある関わりをしながら、確認や改善に向けて努力している。  (外部評価) 利用者を尊重した丁寧な言葉かけ、一人ひとりの笑顔を大切にされた会話を心がけている。利用者に関する記録類、面会者名簿等は個人情報保護に配慮して管理している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の意志を尊重できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりの生活のリズムやその日に本人が望んでいることを大切にし、日々の暮らしが、その人らしいものとなるよう支援している。  (外部評価) 一人ひとりの食べる速度や力量に合わせた食事介助をし、菜園や花壇づくりに精を出す利用者を温かく見守る等、各利用者のペースや思いを大切に、支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人の気持ちに沿った支援を心掛けている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 希望食を月2回取り入れ、利用者と一緒にメニューを考えたり、食事の支度や片付けを行っている。  (外部評価) 食事の献立に利用者の希望を取り入れたり、共に料理の下ごしらえ、下膳をしたり、食卓に季節の花を飾る等、食事が楽しめるよう支援をしている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 管理者・看護師と相談の上、楽しめるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄のチェック表を作成し、パターンの把握に努めながら、その人の状況に応じセンナ茶や便秘薬で対応している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 出来る限り希望の時間帯で入れるよう支援している。  (外部評価) 一人ひとりが希望する時間に入浴が可能な体制となっており、夕食後まで入浴することができる。浴室内部に縦の手すりが設置されているが、横の手すりはない。	※	浴室内部に横またはL字型の手すりを設置するなど、利用者の身体状況と安全面に配慮した設備の点検を期待する。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努力しながら、個別の疲れ具合に合わせた休憩を取りいれている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) その人が毎日楽しく生活出来るように支援している。  (外部評価) 洗濯物を干したり、たたんだり、菜園・花壇作りに励んだり、散歩やカラオケで出かけたり、買い物をする等の利用者の役割や楽しみごとを支援している。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物に行った時は、その人に合った支払い方法を考慮しながら支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩や買い物希望時は、できるだけ出掛けられるよう努力している。  (外部評価) 一人ひとりの希望にそって、近くの図書館や公園に出かけたり、買い物を楽しむ等の支援をしている。時には遠方に出かけたり、レストランへ食事に行くこともある。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 普段、本人が口に出している場所などを計画し、出掛ける機会を作っている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話連絡はされるが、手紙のやり取りは出来ていない。年賀状や暑中見舞いを出す程度である。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会を定めているが、仕事帰りや家族の都合の良い時間帯にいつでも尋ねていただけるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 管理者を中心に指導・指示を受けている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員の見守りの方法を実践し、一人ひとりのその日の気分、行動に気配りしながら日中は、施錠せず、自由な暮らしを支援している。  (外部評価) 運営者や職員は鍵をかけないことの大事さを理解しており、居室や日中の玄関に鍵はかかっている。徘徊傾向のある利用者は30分ごとに所在を確認し、安全に配慮している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者を見守りやすい位置に居る。日中は、作業をしながらさりげなく全員の状況を把握している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 全てを取り除くのではなく、利用者の状況変化によって、注意しながら対応し厳重に保管すべきものは夜間確認のもと保管している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故・ヒヤリハットに関する報告・記録し、それらは申し送りやミーティングなどで即、検討をしている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急対応のマニュアルを作成し、勉強会を行っているが、緊急時に活かせるかは不安である。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 敷地内での訓練は出来ているが、地域の人々の協力を得られるかどうかはわからない。  (外部評価) 消防署の指示を仰ぎながら、夜間も想定して年2回の防災訓練を実施している。また、ホーム内にスプリンクラーを設置している。非常災害時の備蓄や地域の応援体制はまだ整っていない。	※	非常災害時の対策として備蓄を用意し、いざという時には地域の人々の協力が得られるような体制づくりを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 普段から家族との関係作りを大切にし状況変化に応じて、繰り返し説明を行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 定期的受診を行い又、ナースとも連絡をとり対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが見ている薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬方法や用量など変化があった時は、申し送りをし確認をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 薬をなるべく使用せずセンナ茶、水分補給をし、腹部マッサージをし排便時には腹圧をかけ対応している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアを実施し、就寝前には義歯洗浄を行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士の献立表により調理しているが、一人ひとりの嗜好を把握しながら献立の変更を行う。又、毎回摂取状況はチェック表に記録し情報を共有している。  (外部評価) 食事や水分摂取量は、都度チェックしている。利用者が自分の力で食べられるよう配慮し、状態に合わせて刻み食にするなどの支援をしている。栄養士による栄養バランスやカロリーの把握ができています。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 定期的に看護師の勉強会がありマニュアルを作成、全職員が学習し予防対策に努めている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 新鮮な食料、毎食後の高熱による食器乾燥機の使用と、布巾、まな板の漂白をし清潔を心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) ホームの入口に案内板を掲示し、ベンチやプランターを置き畑も確保している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 壁面に季節感を出し居心地の良い安心できる場所になるように、又、自分なりの活動がしやすくなるように座席の配置の位置にも工夫している。  (外部評価) ホーム内は木材が多く使われ、明るく温かい雰囲気がある。居間には季節の花が飾られ、見やすい時計やカレンダーが置かれ、利用者の手作り品や季節行事の品が飾られ、居心地よく過ごせるよう工夫している。その他の共用空間も気になる音等もなく、清潔感がある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 廊下の隅にソファやテーブルを置き、思い思いの所で各自過ごせるようにしている。  (外部評価) 居室には洗面台があり、ベランダでは洗濯物が干せるようになっている。居室には利用者が使っていたタンスやいす、ベッド、時計、仏壇、家族の写真等が持ち込まれ、居心地よく過ごせる部屋になっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎日換気を行い、気持ちよく過ごせるよう努力している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者の状態に合わせて手すりの位置、浴室、トイレ、廊下など居住環境が適しているかを見直し、安全確保と自立への配慮をしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) その人がどうしたら自分の力でやって頂けるか、何が分かりにくいかなどの見極めをしながら、力を取り戻せるよう支援している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関先にベンチを置き利用者が日向ぼっこをしたり、庭に花を植え畑を作り、日常的に活動できるような環境を作っている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の個別担当を決め、担当者は特にその人を一番知る事、そして知り得た情報をカンファレンスや日々の申し送りなどで話し合い共有する。(お茶を一緒に飲んだり、家族訪問時などに聞き取るようにしている。)
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	お茶を飲んだり、食事をしたり、一日の時間をゆったり過ごすことを心掛けている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家庭生活と変わらぬ時間の流れを大切にしながらも生活リズムを保つ。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	常に利用者全員に声掛けし、表情などから思いを察し自分らしく生活できるよう支援している。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	希望を聞き取り、天候や体調に配慮しながらしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎朝のバイタルチェックなどで体調管理をし、定期受診もしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	精神面でのケアを随時対応できるように心掛けている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	訪問時には必ずお話をさせて頂き、現状報告やケアプランの1ヶ月ごとの評価のコメントなど協力もお願いし、信頼関係の構築に努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	利用者・職員・家族などの知人、友人などの訪問がある。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	町中の為、商店・特定の場所、人達（小学校）とのつながりはないが、特に心配はないが、近所付き合いは難しい。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ボランティアの時間が多く、業務外でしなくてはいけないこともあり、疲れきった様子が伺える。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族様の声は満足しています。との声をいただくが利用者さんは、GHでの生活に不満を感じている人もある。（納得されて入居していない為）
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族会や訪問時の声を聞き、安心はしているが、、、？本音であることを望んでいるが、利用者・家族様の満足度により、ホームは評価されると思っている。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

今日・今という時間を大切に、一人ひとりの望んでいることの実現化。会いたい人に会え、行きたい所に出掛け、食べたい物を食し、自由にゆったりと笑顔で暮らしていただけることを願っています。「ここに来て、あなたに会えて良かったよ。幸福だよ。」と書いていただけた時、職員も共に幸福を感じ、この職を選んだことに誇りを感じることを思います。



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 社会福祉法人杉の子会グループホーム廣寿苑  
 (ユニット名) うめ

記入者(管理者) 氏名 妹尾 美地子

評価完了日 平成 19 年 3 月 25 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 「私達は笑顔で気兼ねなくゆったりとした生活が送れる」と言う無理のない当たり前の理念の基、ケアを行っている。  (外部評価) 全職員で話し合っってつくりあげた分かりやすい理念であり、居間の見やすい所に掲げられている。なお、地域との交流の視点から、いま一度、理念を見直しているところである。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 管理者と理念は共有されているが、一部の職員の理解が得られていない所が見られる。  (外部評価) 職員は申し送りの時などに理念を読み上げ、確認し合っている。また、日々のケアでは、利用者とは笑顔で話し、ゆっくり接する等、常に理念を意識しながら支援している。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 面会時・家族会・苑での行事・推進会議等で交流をし、理解をして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 出勤時、散歩・買い物時などは、挨拶を行い、話している。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 祭りの際神輿を見せてもらったり、近隣の小学校の行事などに参加し自治会長が推進会議に参加されている。近隣の小学生のボランティア（手品ショー）開催など行っている。 <hr/> (外部評価) ホームは地域の祭りや盆踊り、小学校の運動会、地域交流会に参加し、地域の方々にホームの夏祭りに参加してもらおう等、相互の交流が進んでいる。また、小学生の手品や踊り、地域の音楽療法等のボランティア、中学生の実習等も積極的に受け入れている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価)		キャラバンメイトの研修を活かし、少人数から地域の方に貢献していきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 結果が出た後、ミーティング等にて改善点を話し合い早急に改善できる事はしている。 <hr/> (外部評価) 運営者、管理者、職員は評価の意義を理解し、全職員で取り組んでいる。職員は自己評価を行うことで日頃のケアの振り返りができると考えている。前回の評価後、各ユニットの入り口に玄関の表示を出してわかりやすくし、居室のドアに目印を掲げることで部屋の間違いを防ぐ等の改善に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1回の推進会議の開催苑便りを発行し、報告意見交換を行っている。  (外部評価) 会議では利用者の状況、行事、ボランティアの受入れ等を報告し、参加者から質問、意見を出してもらっている。会議で出される助言や地域行事の情報提供等をサービスの向上に活かしている。参加メンバーや議題がやや固定化している傾向にある。	※	ホームの状況報告等だけでなく、認知症や防災対策の理解に関する学習会、外部評価報告、ホームの見学や行事への参加等で会議の開催にかえるなど幅広くとらえ、柔軟な会の運営を期待する。また、参加メンバーも開催ごとに議題や内容に応じて検討する等の工夫が望まれる。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)  (外部評価) 市担当者とは、日々のケアや業務について相談したり、助言を得るなど日常的に行き来する機会がある。地域包括支援センターとの連携も進んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修・勉強会を行っている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待についての知識勉強をし、職員間で注意するよう心掛けている。		虐待については色々な虐待があり、知らず知らずのうちに行っているはいけないので勉強会を増やし、再度、意識向上に努める。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者・事務所が行っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に苦情箱を設置し、自由に意見を書いて頂けるようにしている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族会、カンファレンスは3月々に1回実施し、苑便りの発行、来苑時に状況説明している。  (外部評価) 利用者の暮らしぶりは、家族の来訪時や電話等で随時報告し、また「ホーム便り」で日々の様子を写真も掲載しながら伝えている。金銭管理は一人ひとりの出納帳を作り、家族にサインをもらっている。管理できる利用者は少額の金銭を所持し、買い物の楽しみを味わっている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会、推進会議、来苑時には心配事等がないか聞いている。又、苦情箱の設置をしている。  (外部評価) 家族の意見や希望は家族の来訪時、家族会、運営推進会議等で把握し、サービスの向上に活かしている。苦情相談窓口は内部と外部に分けて文書に明記し、家族にも説明している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティングや全体会議を行っている。早急に対応が必要な場合は緊急ミーティングを実施。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 受診時・緊急時に調整を行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動の場合は、利用者さんへのダメージを少なくする配慮に心掛けている。		
			(外部評価) 職員の異動は最小限になるよう努めている。異動時は交替職員同士の重複勤務としたり、異動してくる職員が事前に利用者に関わることで利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会の機会を多くしたり、時々、勉強会を開いたりして取り組みしている。		
			(外部評価) 地域ネットワークやグループホーム連絡協議会主催等の研修があり、職員は各自の希望で参加している。ホーム内では月に1回以上の学習会を企画、実施している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 研修や勉強会に積極的に参加し、意見交換を行っている。		相互研修に取り組みたい。
			(外部評価) 同系列の事業所との交流はあるが、ホーム同士の勉強会、相互訪問等を行っていない。今後、交流の機会づくりや相互訪問等を行いたいと考えている。	※	サービスの質向上の面からも、他ホームとの交流や相互訪問等の実現を期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 出来ていない。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 管理者と主任・看護師が訪問し、アセスメントを行っている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 管理者と主任、看護師が訪問し、アセスメントを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 管理者・主任・看護師のもと、対応している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 管理者が行っている。  (外部評価) 入居前からホームを見学して共に過ごしてもらったり、同系列の事業所を経て入居してもらったり、入居後しばらくは職員とマンツーマンで過ごしたり、気の合いそうな利用者と話す機会を設ける等、ホームに徐々に馴染めるよう徐々に工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 生活を共にする事で家族の様な関係作りを目指し、人生の大先輩と言う事で常に頭におき接している。  (外部評価) 利用者と職員は一緒に洗濯物を干したり、料理をしたり、買い物に出かけたり、お茶を飲みながら話をする等で、共に楽しんでいる。職員は、利用者から料理、針仕事、風習等について学ぶことが多いと感じている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来苑時レクリエーションを一緒に行ったり、行事やお誕生日など声掛けし、本人と一緒に過ごす時間を設けている。		家族が帰省し共に過ごしたり、レクリエーションの参加をされている。



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 誕生日には家族からメッセージを頂いたり、3ヶ月に1度、家族会を開いたりしてより良い関係作りに努力している。		墓参り、外食、ドライブ等外出の機会を作っている。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者が入所前に住んでいた場所へ行き、友人などを訪ねる。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 仲の良い利用者に起床の声掛けをしてもらったり、一緒に歌ったり踊ったり、レクリエーションを楽しんだり、軽作業の声掛けを行なっている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所し入院した利用者のお見舞い等を行なっている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 会話する機会を設けたり、カンファレンス時、面会時等に希望を常に聞く機会を作っている。  (外部評価) 職員との会話、利用者同士の話、介護計画の見直しでの利用者の発言等から一人ひとりの思いや希望の把握に努め、支援に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 完全には把握できないのが、シートの活用、カンファレンスの実施、会話の中での生活の様子を聞きだすよう努力している。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 毎日の生活の中で常に観察し、異常を早く発見出来るようにしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月に一度のカンファレンスの実施、ミーティング等の意見を交換し、QOLの向上になるようなプラン作成を行なっている。  (外部評価) 利用者ごとに職員の担当者を決め、担当者が中心になって、利用者や家族の思いを反映しながら、センター方式で介護計画を作成している。計画作成後は家族にも説明し、確認し合っている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 毎月の評価を行いモニタリングシートを作成し、見直しが生じた場合は新たな介護計画を作成している。  (外部評価) 介護計画はモニタリングシートでチェックし、月1回の評価を行い、必要時に見直すことにしている。また、利用者の状況が変化した場合は、計画を立て直している。変化がなくても、3か月に1回は利用者や家族も話し合いに加わり、計画を見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 利用者を洞察し個別記録に細かく記入したり、日誌、申し送りノートを活用している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人や家族の状況に応じて通院や送迎など柔軟に対応している。  (外部評価) 利用者や家族の状況に合わせ、急な受診の支援、冠婚葬祭への対応、家族のホーム内での宿泊等の柔軟な支援を行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 消防避難訓練・救急対応講習を行なっている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 管理者が行なっている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 管理者が行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 利用者、家族の希望に合った病院選びをして頂き対応している。  (外部評価) 利用者や家族の希望にそったかかりつけ医の受診支援を行っている。受診時は家族が同行することになっているが、状況により職員が付添うこともある。ホームの看護職員による健康管理も行われている。		本人希望のかかりつけ医、そうでない場合は事業所のかかりつけ医と連携しているが、入院体制のある医療機関を希望
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 家族と相談し、専門医のアドバイスを得ている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ユニット内に看護職員を配慮している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 管理者が相談・連携をとっている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 指針はあるが、今の所は、対象者がいない。  (外部評価) 重度化や終末期のあり方については、利用者、家族、かかりつけ医等と日頃から話し合っている。看取りのマニュアルを作成し、ホームで支援できる範囲で対応することになっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 対象者が今現在居ない。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) サマリーを作成し、管理者（ケアマネ）と移動先とで情報交換を行なっている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 来苑時の面会者名簿においては、情報が漏れないようにしている。  (外部評価) 利用者を尊重した丁寧な言葉かけ、一人ひとりの笑顔を大切にされた会話を心がけている。利用者に関する記録類、面会者名簿等は個人情報保護に配慮して管理している。		面会簿は個々に記入し、職員に手渡すようにしている。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 入浴時、散歩時の会話の中から自己決定出来るように声掛けを促している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来る限り本人のペースに合わせるようにしているが、時々職員側の都合になっている事がある。  (外部評価) 一人ひとりの食べる速度や力量に合わせた食事介助をし、菜園や花壇づくりに精を出す利用者を温かく見守る等、各利用者のペースや思いを大切に、支援している。		本人の意思をもっと尊重したケアがしたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) なじみの理美容に出向いたり訪問理美容を利用している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 1ヶ月に2回の自由食、好みの食事が出来るよう配慮し、一緒に準備や食事づくり、後片付けを手伝ってもらっている。  (外部評価) 食事の献立に利用者の希望を取り入れたり、共に料理の下ごしらえ、下膳をしたり、食卓に季節の花を飾る等、食事が楽しめるよう支援をしている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 何種類か取り揃え、利用者の好みのもも出来る限り出すようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンを記録し、オムツはずしに向けて支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴の声掛けのタイミングをつかみ、気持ち良く入浴して頂けるよう心掛けている。  (外部評価) 一人ひとりが希望する時間に入浴が可能な体制となっており、夕食後まで入浴することができる。浴室内部に縦の手すりが設置されているが、横の手すりはない。	※	浴室内部に横またはL字型の手すりを設置するなど、利用者の身体状況と安全面に配慮した設備の点検を期待する。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 体調状態に合わせて、個々に居室にて休息されるよう声掛けしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 日々の生活の作業や図書館・カラオケ等外出している。  (外部評価) 洗濯物を干したり、たたんだり、菜園・花壇作りに励んだり、散歩やカラオケで出かけたり、買い物をする等の利用者の役割や楽しみごとを支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 財布を所持されている方もいるが、紛失、不安のないよう気をつけながら、日々の買い物はホームにて職員が管理している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 買い物・散歩・カラオケ・図書館への外出を行なっている。  (外部評価) 一人ひとりの希望にそって、近くの図書館や公園に出かけたり、買い物を楽しむ等の支援をしている。時には遠方に出かけたり、レストランへ食事に行くこともある。		個別で行きたい場所に行ける支援をしたい。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 墓参り、ドライブなど職員が同行したり、家族の協力を得ている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話はかかってきたり、かけたりしている。便りにおいても頻度は少ないがそれぞれの関わりはある。		本人の希望を聞き、電話・手紙・交流が絶えない支援をしていきたい。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 訪問者が来ても居心地の良い雰囲気作りに心掛けている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員が理解し、拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間は施錠しているが日中は施錠せず、自由に暮らせるよう見守りの強化をしている。  (外部評価) 運営者や職員は鍵をかけないことの大事さを理解しており、居室や日中の玄関に鍵はかかっている。徘徊傾向のある利用者は30分ごとに所在を確認し、安全に配慮している。		徘徊される方においては、30分ごとの確認表を作成している。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 危険防止の為、所在確認を行いチェックしている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 刃物等、危険の恐れがあるものは保管している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員間で相談したり勉強している。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) N s ミーティングを月1回実施し、現場にて指導している。		消防の救命処置の講習を実施している。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に全体で避難訓練を実施している。  (外部評価) 消防署の指示を仰ぎながら、夜間も想定して年2回の防災訓練を実施している。また、ホーム内にスプリンクラーを設置している。非常災害時の備蓄や地域の応援体制はまだ整っていない。	※	非常災害時の対策として備蓄を用意し、いざという時には地域の人々の協力が得られるような体制づくりを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 家族会、カンファレンス、来苑時に説明している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) バイタル測定実施、N s に相談家族に報告し受診を行っている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりの症状について理解しており、症状に異常があればすぐに受診し主治医の指示を仰ぐようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 薬茶の飲用、水分補給、リハビリ体操、腹部マッサージを行なっている。		腹部体操、乳製品の取り入れ、散歩を心掛け自然な排便を心掛けたい。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後声掛けし、義歯洗浄を行なっている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食量、水分量のチェックをし個々の状態を観察し、不足のないように支援している。  (外部評価) 食事や水分摂取量は、都度チェックしている。利用者が自分の力で食べられるよう配慮し、状態に合わせて刻み食にするなどの支援をしている。栄養士による栄養バランスやカロリーの把握ができています。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 月1回ナースミーティングを実施し、感染症に対する予防対応に取り組んでいる。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 新鮮な食材が毎日届き、調理用具においてもハイターにて消毒している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 季節感ある小物を置き、暖かい雰囲気作りを心掛けている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の飾り、カーテンの開閉を行なっている。  (外部評価) ホーム内は木材が多く使われ、明るく温かい雰囲気がある。居間には季節の花が飾られ、見やすい時計やカレンダーが置かれ、利用者の手作り品や季節行事の品が飾られ、居心地よく過ごせるよう工夫している。その他の共用空間も気になる音等もなく、清潔感がある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 廊下の隅には小さな椅子を置き、一人で過ごせる場所を設けている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 昔から使っていたものをなるべく置いて頂き、安心して暮らせるようにしている。  (外部評価) 居室には洗面台があり、ベランダでは洗濯物が干せるようになっている。居室には利用者が使っていたタンスやいす、ベッド、時計、仏壇、家族の写真等が持ち込まれ、居心地よく過ごせる部屋になっている。		タンス・仏壇・こたつ・茶碗・湯呑みなど

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気に気を付け、空気の入替えや冷暖房機に頼りすぎないよう衣服調整などに気をつけている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下、脱衣所、トイレには手すりをつけ安全な生活が出来るようにしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) トイレ、リネン庫、居室、風呂等のドアには理解できるような表示を工夫している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) お花を植えたり、畑で野菜を作ったり楽しんで活動できる外回り作りをしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の個別担当を決め、アセスメントシートを活用し、ミーティング、カンファレンス、家族会等で知り得た情報を共有している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	お茶を飲んだり食事をしたり、会話の時間を設け一緒に過ごす時間を設けている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	生活リズムを保ちながら、本人のペースを大切にしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	アセスメントシートで出来る事・好きな事の情報を得て、自分らしく生活できるよう支援している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	希望を聞いたり、天候、体調に配慮し、職員対応したり、家族に協力を得ている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎朝のバイタルチェックを行い、体調管理をし、定期受診をしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状況や要望に申し送り、管理者と相談し、その時々に対応出来る体制をとっている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	来苑時・家族会・カンファレンスにお話しさせて頂き、傾聴するよう努力し、信頼関係の構築を図っている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	利用者・職員・家族・親戚などの訪問がある。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	自治会長が、小学校・町内会等に声をかけてくださり、交流が少しずつ広がっている。
98	職員は、生き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) ③ 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	勤務時間外でなくてはいけない事もあり、ボランティアの時間が多い。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族様の声は、満足していますとの声を頂いている。利用者さんの笑顔も増えてきた。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族会・訪問時やカンファレンス時には、満足しているとの発言はある。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

「私たちは、気兼ねなく笑顔でゆったりとした生活が送れるよう支援してまいります。」という理念の基、出来る事、好きなことが出来るよう、残された人生が幸福であった。「ここに来て良かった。幸福」と思って頂けるように支援してまいります。